

平成 16 年 9 月 17 日

お客様 各位

『第 1 審地裁判決に不服、当社は即日控訴しました』

中央自動車工業株式会社
取締役社長 福辻 道夫

この度は、株式会社ウイルソンとの訴訟判決について、一部行過ぎた報道等により、CPC ペイントシーラントユーザーの皆様、またご販売店様に、大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますこと、謹んでお詫び申し上げます。

平成 16 年 9 月 15 日、東京地方裁判所におきまして、ウイルソン社からの訴訟に対し、ウェブページの一部表現の削除と、過大な損害賠償請求額に対しては、弁護士費用を含め 1,000 万円の支払いを命じる内容の判決がなされました。

ウイルソン社は、当社のCPCペイントシーラント販売により、同社が販売する自動車用ワックスの販売が阻害されたとして、訴訟を提起したのですが、その一部を地裁が容認したことは、当社としては到底納得し難いものとして、即日、東京高等裁判所に控訴を行いました。このことは、当裁判は終了しておらず、引き続き東京高裁において審理されることになります。

判決では、

- ① CPCペイントシーラントの品質及びテフロン皮膜が形成されていること
- ② CPCペイントシーラントの販売を継続して行うこと
- ③ 謝罪広告は不要であること

等、当社の主張が認められ、ウイルソン社の主張はことごとく退けられました。

しかし残念ながら、当社の広告等で「5年間効果を維持する」という表示が、CPCペイントシーラントの品質、内容を消費者に誤認をさせるおそれがあるとの判断を示されました。

当社といたしましては、

- 判決の根拠となりましたウイルソン社のテスト結果の信頼性に問題があること
- 世界的権威のある検査機関であるSGSーUSテストング社でおこなったASTM-G53のテストデータで光沢維持の根拠を説明できること

等により、即日控訴を行った次第です。

CPCペイントシーラントは米国GM社（ゼネラルモータース）が「ACデルコ」ブランドで、欧米で10年間、更に日本に於いても当社が日本総発売元として16年間を経過し、通算26年間の永きに亘り世界のユーザー様より高い評価を得て参りました。また施工後5年を超えるユーザー様からも多数の賞賛のお声をお聞きします時に、このようなユーザー様の事実認識とウイルソン社の主張には相当の乖離があると考えます。ウイルソン社が主張するように7ヶ月で光沢度が半減する等が事実であれば、CPCペイントシーラントは多くの皆様方のご信頼とご満足を得ることなくすでに市場から消えていたと思われれます。

保証保険につきましても、従来通り継続しておりますので、どうぞご安心してご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。